

日 時：平成 30 年 8 月 28 日 (火) 14:00~17:20		会場：地盤工学会 3 階中会議室	
理 事 会 員・支 部 部 長 (地盤品質判定士担当, 技術普及委員会委員長) 小田部 雄 二 ○			
理 事 金 子 敏 哉 (会員・支部担当)	○	理 事 北 田 奈 緒 子 (男女共同参画・ダイバーシティ担当)	×
部 員 石 井 裕 泰	○	部 員 石 川 敬 祐	○
部 員 田 中 真 弓	○	部 員 原 田 克 之 (継続教育システム委員会委員長)	○
新部員 中村 裕 昭 (地盤品質判定士 WGL)	○	理事・副会長 田 中 耕 一 (特別会員強化 WGL)	○
オプザーバ 片岡 沙都紀 (男女共同参画・ダイバーシティ委員会委員長)		×	
事 務 局：伊佐治 ○ 長尾 ○ 渡邊 ○			

○：出席 ×：欠席 △：未定

◎本日の議事録作成担当者（金子 理事）

議 題：

1. 前回議事録の確認 (2018 年 6 月 19 日開催) 資料－1 pp. 1～ 3
 - ・小田部部長より前回議事録の説明があり、承認された。
2. 理事会報告 (2018 年 6 月 (総会(06), 理事会(15)), 2018 年 7 月開催) 資料－2 pp. 4～ 18
 - ・小田部部長より、6 月 6 日(対面式)、6 月 15 日(書面)、7 月 20 日(対面式)に実施された理事会内容が説明された。
3. 部全体に係る活動 (理事会 (総務部) からの検討依頼を含む)
 - 1) 平成 31 年度事業方針・計画案および予算作成 資料－3 pp. 19～ 39
 - ・小田部部長より、総務部からの検討依頼内容が説明された。
 - ・9 月 5 日に実施される総務部対応のヒヤリング資料(以下の資料)について説明された。
 - 「平成 30 年度事業計画」「組織構成」「平成 30 年度活動状況と平成 31 年度活動方向」
 - ・事務局より、事業方針・計画(案)作成においては収入増となる新しい計画を立ち上げること、予算(案)の作成においては、平成 30 年度の予算を参考にすること、大型イベントについては慎重に検討すること、経費削減と収入増の両方を考えること等の説明がされた。
 - 2) 平成 30 年度地盤工学会賞候補の募集 資料－4 pp. 40～ 43
 - 小田部部長より、環境賞、技術賞、研究・論文賞の候補募集について説明された。
 - 3) 70 周年記念行事の検討 資料－5 pp. 44～ 51, 150
 - ・小田部部長より、70 周年記念行事の内容が説明された。
 - ・会員・支部部は、「ダイバーシティ特別セッション」「地盤品質判定士関連の市民向けセミナーと相談会」を実施する。「未来への提言」は、提案とする。
 - ・「ダイバーシティ…」に関しては、小田部部長が北田理事(ダイバーシティ担当)、片岡オプザーバ(ダイバーシティ委員長)から実施概要、実施工程等の意見を聞き、整理した結果を、部員にメールする。
 - ・中村部員から「未来への提言」について、シニアの人から地盤工学会の発足当時の話を聞くことも地盤工学会発展に寄与する、との意見がでた。
 - 4) 本部・支部連絡協議会
 - a. 開催報告 資料－6 pp. 52～ 56
 - ・事務局より、7 月 24 日に実施された「平成 30 年度本部・支部連絡協議会」の議事録について説明があり、承認された。議事録は、次回の理事会で報告し、承認され次第、本部 HP に掲載する。
 - b. 要望と対応について 資料－7 pp. 57～ 62
 - ・石井部員より、連絡協議会で安田先生から要望があった「他支部の活動状況を一元的に確認できるものがある」といに対する対応案として「a. 各支部の行事情報 HP のリンクを本部 HP に集約して掲示する」「b. 前年度実施の各支部行事情報を比較表にまとめ HP に掲示する」が提示された。
 - ・石川部員からは、近日開催予定のイベント情報を一元的に確認できるようにすることで参加者増を図ることも、要望の意図として考えられるとの意見が寄せられた。その対応として、毎月発信のメールニュースを HP 上にも掲載することが手間をかけずに実践できる方策として期待できる、と広報委員会連絡員を兼ねる石井部員より意見が出た。

- ・以上の討議を反映して、今後、石井部員が具体化にあたる。

4. WG 活動

1) 特別会員強化 WG

資料—8 pp.63～ 67

田中理事・副会長より、以下が報告された。

- ・学会費の請求の方法の中の「収納業者の請求書を会員に送付し入金」は、専用紙(バーコード入り)を使わずに、郵便局の通常用紙に収納業者の口座番号を記入して入金する人がいる。
- ・お金は収納業者の口座に入るが、振込者情報にあたるバーコードがないため地盤工学会関連の振込であることが判別されず、振込先不明の入金になる。収納業者への問合せで当該振込を回収することが出来るが、追跡作業等で事務局の大きな負担になる。
- ・学会費の請求の方法の中の「銀行からの入金」についても、個人を特定するのに事務局が非常に労力を使う。
- ・この改善策として学会から送付した専用紙以外が使えない「コンビニ払い」を、主たる支払い方法に誘導することを考えた。
- ・しかし、本日開催したWGで、「コンビニ払いの手数料」が「郵便局の手数料」よりも高いこと、意図するようにコンビニ払いに流れず郵便局払いの事務局手間が返って増大する懸念が判明したことから、再度WGを開催し、これらの問題の改善策を検討する。
- ・その他の改善策として、振込代行センターに地盤工学会専用の口座を設ける案が説明された。この方法であれば、前述の問題が解決される。ただ、年間24万円の支払いが生じる。
- ・このような対策案を念頭に置き、再度WGを開催し方針を決める。

2) 地盤品質判定士 WG

a. 地盤品質判定士に関する報告

資料—9 pp.68～ 74

- ・小田部部长より GeoKanto2018 の特別企画として本WGが対応している「住宅地盤トラブルにおける法制度と地盤品質判定士の役割」について説明された。
- ・中村部員より、各パネリストが話す内容について説明された。

b. 判定士活動状況表 (CPD 付与行事等)

資料—10 p.75

- ・事務局より CPD ポイント付与について説明された。

5. 所管委員会関連

1) 技術普及委員会

a. 配信講習会報告

資料—11 pp.76～ 79

- ・事務局より9月26日に開催する支部配信講習会について説明された。
- ・現時点で東北支部と関西支部の申し込みがある。
- ・田中理事・副会長より、会員と非会員の会費は差を付けた方が良いのではないかと、との意見がでた。
 - ・山口部員より、東北支部では会員と非会員の会費の差を少なくして多くの方に参加して頂いている、との意見があった。
- ・各支部の事情があるので、今後も本部と支部が連携して対応していく。

b. 講習会企画 (5 件)

資料—12 pp.80～ 84

- ・事務局より5件の講習会について説明された。

c. 講習会の収支経過報告

資料—13 p.85

- ・事務局より、これまでに終わっている講習会の収入、支出、収支差について説明された。

d. 委員の追加：山口 晶 氏 (東北学院大学, 会員・支部部担当理事)

- ・小田部部长より山口理事が紹介された。

2) 男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会

a. ダイバーシティ会費減免制度の評価

資料—14 pp.86～ 99

- ・小田部部长より、男女共同参画・ダイバーシティ委員会が作成した資料を基に、ダイバーシティ活動内容、減免制度、申請会員、ダイバーシティ制度の貢献について説明された。
- ・石井部員より、ダイバーシティの減免措置の評価として、減免措置対象世代の定着率の動向に着目し、在会人数、入会人数、退会人数、年齢構成をベースに作成した資料について説明された。
- ・上記の2資料を基に議論した。以下が議論内容である。
- ・男性、女性共に「退会者数/在会人数」の経時的な減少傾向は見られず、減免措置が会員定着率の増加に寄与した、との明瞭な効果は見いだせていない。
- ・30代女性の半額減免の継続や外国人への適用拡大など、制度の見直しも必要ではないか。
- ・年間200万円程度の負担(投資)があり、その切り口からの評価も必要ではないか。
- ・事務の件数も掛かっているため考慮することも必要ではないか。
- ・定量評価だけでは難しく、定性的な評価や社会貢献なども関わるのではないか。

- ・理事会への報告と、継続検討は切り分けることが良いのではないか。
 - ・本部・支部連絡協議会で情報提供し意見照会したことは、検討過程として重要な局面ではないか。
 - ・9月の理事会に提出する予備審議資料は、ダイバーシティ委員会と石井部員が作成した資料を基本とする。
 - ・石井部員が現状で見た事と課題を整理し、今後も継続検討が必要とする資料を作成し、メール審議とする。
 - b. 53 発表会・特別セッション報告 資料—15 pp.100～101
 - c. 53 発表会・サロン・土・カフェW 報告 資料—16 p.102
 - ・小田部部長より、第53回地盤工学研究発表会で実施された「特別セッション」「サロン・土・カフェW」が報告された。
- 3) 継続教育システム委員会
- ・活動報告 資料—17 pp.103～106
 - ・原田部員(継続教育システム委員会委員長)より、相談員活動もCPD付与の対象とすることの説明がされた。さらに、相談員以外にも同様なケースが生じる可能性があることを鑑み、一覧表の表記を変更することの説明がされた。
 - ・一覧表の記載について次の意見が出た。
 - ・19-1に記載の「web会議、mail審議……(委員幹事の場合)」について、(委員幹事の場合)は削除する方が良いのではないか。
 - ・形態区分や通し番号を整理したほうが良いのではないか。
 - ・ただし、番号等はシステムとリンクしている可能性があるので事務局で確認のうえ、一覧表表記内容の再検討を行う。
- 4) その他
6. 会員処理
- 1) 請求書関係
- a.平成30年度第3回【コンビニ収納】会費請求：2018年9月発送予定 資料—18 p.107
平成30年度第2回【口座引落】：10月27日引落し予定
 - ・事務局より平成30年度第2回、3回の会費請求について説明された。
 - ・請求書に記載の「郵便局に備え付けの……」の文章は削除し、「必ずこの振込用紙を使っただくこと的主旨(バーコードに大切な個人情報が入っている等)を記載」に変更する。
 - b.ダイバーシティ会費減免に関する相談 資料—19 pp.108～116
 - ・事務局より、身障者の会費の返金について説明された。
 - ・定款第10条2に「既納の会費は、いかなる理由があってもこれを返還しない」と明記してある。また、HPでも情報開示しているので、会費は返金しない。
 - c.学会誌送本停止に関する会告について 資料—20 pp.117～118
 - ・事務局より説明された。
- 2) 会員データベース
- ・学生会員所属の挿入について
 - ・職場班請求明細の送付：2018年5月発送
 - ・会員情報更新案内の継続について
- ）会員の特典について
7. 新入会、ダイバーシティ制度申請、被災による会費減免申請（メール審議済）
- 1) 8月入会申請 資料—21 pp.119～123
 - 2) 8月会費減免申請 資料—22 pp.124～125
8. その他
- 1) 第21回事業企画賞及び審査員候補案選出依頼 資料—23 pp.126～148
- a. 依頼内容の確認
 - ・小田部部長より、「事業企画賞の候補案選出依頼」について説明された。
 - ・候補案選出の対象年度は平成29年度とし、該当年度に顕著な貢献があったものとする。
 - ・事業企画賞候補選定に関する細則の第1条の記載文が間違っていたので訂正し、理事会に報告する。現在→表彰規定第37条に定める 訂正→表彰規定第45条に定める
 - b. 担当者の選任
 - ・審査委員と推薦理由書の対応は、昨年度と同様に遠藤部員と石井部員にそれぞれお願いする。
 - c. 対象期間について
 - ・各部長の候補案選出作業は、10月31日までとする。

2) 過年度未収金

- ・事務局より「平成27年度講習会費未納リスト」について説明された。
- ・小田部部長より、平成27年度の未納金については、次回の部会で会計処理を行うことの見解があった。
- ・未納リストは、該当がなくても「該当なし」として最新情報を部会資料に貼付するよう要請があった。

) 永年会員感謝状賞状、プレミアム会員証用フォルダの再作成について

) 「土質試験者を対象とした技量把握情報提供サービス」企画について

) 永年会員表彰の工程及びチェック体制の強化

) 特別会員表彰の実態調査

) ダイバーシティ関連表彰について

) 学会誌在庫処分（メール審議済）

資料一

) 平成29年度除籍者への復会依頼書類について

資料一

) 除籍特別会員の継続取扱いに関して

・平成29年度に除籍された国土交通省福知山工事事務所より、復会したいが平成29年度会費が支払えないとのこと。

) 学会HP「会員係からのお知らせ」変更について

資料一

9. 次回以降の部会等開催日程

平成30年度第4回：平成30年10月 日（ ）

◎ 平成30年度 理事会 開催日程（予定含む）

- ① 4月20日（金） ※書面審議
- ② 5月18日（金）
- ★ 6月6日（水） 総会/理事会
- ③ 6月15日（金） ※書面審議
- ④ 7月20日（金）

⑤ 9月28日（金）

⑥ 10月26日（金） ※書面審議

⑦ 11月30日（金）

⑧ 12月21日（金） ※書面審議

⑨ 1月25日（金）

⑩ 2月22日（金） ※書面審議

⑪ 3月15日（金）

10. 課題と対応事象の伝承

- ・小田部部長より、次の意見がでた。
- ・これまでに顕在化した課題とその対応について、一覧表に時間軸で整理し、伝承していく必要がある。
- ・事務局が作成した資料をベースに小田部部長がフォーマットを検討する。